

仕事、働くこと、そして社会で生きること。
“シゴトを語り考える” 60分 project、始めます。

2010年。高い失業率、就職難、増える非正規雇用、広がる格差。
働き方は多様化し、様々な人が、様々なスタイルで、それぞれの生き方と、
自分自身の働き方を模索しています。

これから、あなたはどのように働いていきますか？

「Works×Talks」では、様々な現場で働く人をゲストに向かえ、シゴトについて考えます。

イベント

Session 0 「カネ」? × 「やりがい」? 究極のキャリア・サバイバル考

「Works×Talks」初回は、プロジェクトの主宰者2人によるトークセッションです。
このプロジェクトを始めるに至った経緯や想いも、アツく語ります。

日時：10/8 (金) 19:00~20:00 (受付 18:45から)

場所：旅カフェ サマルカンド (仙台市青葉区春日町1-5 せんだいメディアテーク隣)

参加費：ワンドリンク制 500円

申込：worksxtalks@gmail.com に、下記のようなメールを送ってください。

件名：「申込」 内容：「名前」と「所属」(学生/会社員/社会人など)



Guest ホリノ マサヒロ (Works×Talksプロジェクト)

仙台市出身。団体職員。
高校卒業後、ニュージーランド~東京~アメリカで暮らし、仙台に戻る。
国際交流・国際協力の分野で、なりゆき任せでシゴトをしてきた35歳。

Host キクチ アキヨシ (Works×Talksプロジェクト)

東京都出身。団体職員。
仙台市内の高校を卒業後、都内の大学に滑り込む。
そこで学ぶ意義を見失い、バイトと部活とギターと読書に明け暮れる。
社会人になっても働くということに迷い続けてきた。36歳。



今後の予定 (変更になる場合もあります。ご了承ください)

Session 1 「ボランティア」? × 「ソーシャルベンチャー」? NPOという働き方

日時：11月上旬 Guest マツムラ マリコ (NPO職員)

Session 2 「鎖国」? × 「開国」? “外国”で働くということ

日時：12月上旬 Guest ソリナ (旅行会社勤務 内モンゴル出身)

職業は人生の背骨である。(ニーチェ)

仕事に私情を紛れ込ませる。仕事にプライベートなメッセージを込めることで、自分の仕事だという実感を持つことができる。そして、それは世の中に対してより届く仕事になる。(箭内道彦)

一生の仕事を見出した人には、ほかの幸福を探す必要はない。(トーマス・カーライル)

勤勉だけが取り柄なら蟻と変わるところがない。なんのためにせっせと働くかが問題だ。(ヘンリー デビッド ソロー)

仕事とは自分の能力や興味、価値観を表現するものである。そうでなければ、仕事は退屈で無意味なものになってしまう。(ドナルド・E・スーパー)

仕事は探してやるものだ。自分が創り出すものだ。与えられた仕事だけをやるのは雑兵だ。(織田信長)

最初の仕事はくじ引きである。最初から適した仕事につく確率は高くない。しかも、得るべきところを知り、自分に向けた仕事に移れるようになるには数年を要する。(P・F・ドラッカー)

一生のうちでいちばんたいせうなことは、職業の選択である。ところで、それを決めるのは、偶然なのだ。(パスカル)

目的をもつことの重要性はスキル以上。平均的なスキルしかない人間でも、やる気さえあれば、おそらく高いスキルと平均的な意欲を持った人間よりも勝算がある。(カール・ロス・ゴーン)

仕事の95%は繰り返しのルーティンワーク。でも、残りの5%をどう膨らませるかで仕事を面白く出来るかどうかが決まる。(松永真理)

下足番を命じられたら、日本は下足番を命じている。そうしたら、誰も君を下足番にしておかぬ。(小林一三)

才能とは継続する情熱のことである。(モーパッサン)

生きるためには、食べなければならない、食べるためには、稼がなければならない、そのためには、仕事をしなければならない、この「しなければならない」の繰り返しが、大人の言うところの「生活」だ。しななければならないでする生活、生きなければならないで生きる人生なんかが、どうして楽しいものであるだろう。(池田晶子)

仕事の報酬は仕事。(田坂広志)

人生の最大幸福は職業の道楽化にある。富も、名誉も、美衣美食も、職業道楽の愉快さには比すべきもない。(本多静六)

愚か者は、幸福がどこか遠いところにあると思いついでいる、賢い者は、幸福を足元で育てている。(ジェームズ・オッペンハイム)

どんなに必死に働いたとしても、もっとも重要なことから逃げているのではないか。考えたくないことを考えずに済ませるために。(村上龍)